

令和6年度第1回習志野市学校給食運営委員会 会議録

1. 開催日時：令和6年7月9日（火） 午後3時30分から午後4時30分

2. 開催場所：市庁舎3階大会議室

3. 出席者【会長】 奥秋裕司委員

【委員】 合田聖委員、小久保美穂子委員、渡邊恵美委員、板倉由香里委員
南方早苗委員、中野佳代委員、柴尾さくら委員、荒井萌奈委員
矢部綾乃委員、小栗千波委員

〈欠席委員1名〉

【事務局】 小熊教育長、島本学校教育部長、野村学校教育部参事
荻原保健体育安全課長、藤代学校教育部主幹
石垣学校給食センター所長、学校給食センター水嶋主幹
谷地副主査、榎技師補

【傍聴人】 1名

4. 会議の概要

開会

【会議内容】

第1 会議の公開

原則公開としたうえで、内容により公開・非公開の判断が必要となった際は、その都度、議決することに決定した。

第2 会議録の作成等

要点筆記とし、会議名・開催日時・開催場所・出席者氏名・会議内容・発言委員名及び所管課名を記載のうえ、市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて公表することを決定した。

第3 会議録署名委員の指名

会議録署名委員に南方早苗委員を指名し、決定した。

報告事項

- (1) 令和6年度習志野市学校給食基本方針について
- (2) 令和6年度学校給食関係費予算について
- (3) 物価高騰による賄材料費の現状について

その他（事務局連絡等）

閉会

5. 会議資料

- ・ 次第
- ・ 資料1 令和6年度習志野市学校給食基本方針
- ・ 資料2 学校給食摂取基準
- ・ 資料3 学校給食の残菜について
- ・ 資料4 令和5年度地元野菜使用状況
- ・ 資料5 令和6年度学校給食関係費予算
- ・ 資料6 物価高騰による賄材料費の現状について
- ・ 資料7 学校給食のあり方について
- ・ 別紙 習志野市学校給食運営委員会規程・学校給食法

6. 報告事項

(1) 令和6年度習志野市学校給食基本方針について

事務局より資料1～4を基に、令和6年度習志野市学校給食基本方針について説明。

【柴尾委員】 市内農家が減っていると聞いたが、現在、習志野市には農家が何軒あるのか。

【藤代主幹】 5年ごとに行われている国の農林業センサスという統計によると、最新の2020年のデータで市内農家の軒数は62軒。2015年の市内農家軒数は81軒であり、減少している。

(2) 令和6年度学校給食費関係費予算について

事務局より資料5を基に、令和6年度学校給食関係費予算について説明。

(3) 物価高騰による賄材料費の現状について

事務局より資料6を基に、物価高騰による賄材料費の現状について説明。

【奥秋会長】 この件については現場の栄養士の意見を伺いたい。

【南方委員】 秋津小学校で物価高騰に対応して行っていることは三点ある。

一つ目は予算に合った食材を選び使用している。穀物類や油など価格高騰している食材は提供回数を見直し、予算に合った食材を使用している。また、予算を圧迫しない食材に置き換える工夫をしている。例えば、鶏モモ肉を鶏胸肉に変えたり、もやしでボリュームアップしたりするなど栄養価を損なわず、満腹感の得られるよう考えながら食材を選ぶ努力をしている。

二つ目は仕入れの工夫。秋津小学校では昨年度から共同購入の担当をしている。これは、市内の学校で共通して使用する調味料、乾物、缶詰、魚の切り身などは事前に予定使用量を納入業者に知らせ、一括で見積もりを取り、食材単価を抑える取り組みである。食物アレルギーや産地なども吟味して、食材を選定している。安定した価格で購入できるようにすることで、1食単価を抑えることができている。

三つ目は加工品を使わず手作りメニューを提供している。秋津小の小規模というメリットを活かし手作りで、単価を抑え、美味しくボリュームのあるメニューを提供できている。主食、主菜、副菜だけでなく、デザートも手作りでしている。さらに、パンに付けるジャムやクリームも手作りでおり、児童が食べやすいようパンに塗って提供している。このように安価でも美味しく、児童が喜ぶ給食作りに日々努めている。

【中野委員】 資料6の主食・牛乳だけでなく、他の食材でも1～2割くらい値上がっている。特に、鮭の切り身はほぼ倍の価格になっており、給食の中では高級魚という扱いで、現状、使用することは難しい。

パンの献立の日であれば、パンと牛乳の値段だけで令和3年と令和6年を比較すると約20円値上がりしている。

栄養士共通の願いとしては、主食と牛乳の値上がり分の値上げが可能であれば、今まで通りの行事食や季節の食材を取り入れた献立を立てられるのではないかと考える。

【奥秋会長】 以上が栄養士からの意見であったが、次にPTAの意見はどうか伺いたい。

【渡邊委員】 資料を見て、物価高騰の大変な状況の中、工夫して献立作りをしていたり、先生方が残菜の出ないように各教室で指導されていたり感謝している。

地元の食材や季節の食材、行事食を取り入れた給食があることは保護者として嬉しく思う。そのため、中野委員より話のあった「主食と牛乳の値上がり分だけでも給食費が値上がれば」というのは、各家庭が少しずつ負担することで子どもたちに良い給食を提供することができ良いのではと思う。市としては給食費を下げ

ることの方が保護者にとって良いことだと進められていると思うが、物価高騰の現状から給食費の維持が難しいのであれば、保護者にしっかりと説明することで給食費の値上げに納得して受け入れる家庭も多いのではないかなと思う。

また、給食のメニューを工夫されているという点について、今年からホームページで毎日の給食の写真が見られるようになり嬉しく思う。メニュー名だけでは分からなかったメニューでも、写真があることにより様子が分かり子どもと給食の会話をするようになったり、家庭の食事でも取り入れたりするようになった。また、人気メニューのレシピの公開も嬉しく、真似してみようと思っている。

彩誉（習志野にんじん）のメニュー提供の日に給食を食べている様子を見る機会があったが、以前に「無償化することにより給食の量が減り、子どもが満足する量を食べられていないのではないかな」と心配している保護者がいると聞き、子どもたちの給食量について見てみた。子どもは個々で食べられる量が異なり、小食の子はそのままの自身の食べられる量を食べ、たくさん食べられる子は何度もおかわりをして満足するまで食べられていた。先生が積極的におかわりを促し、子どもたちが楽しく給食を食べている様子が見られた。

【奥秋会長】 主食と牛乳分の値上げだけでも給食費の値上げをしてもらえたらという意見と保護者としては値上げも致し方ないという意見があるが、これらの意見をお聞きした上で事務局の意見を伺いたい。

【藤代主幹】 今の段階では給食費に対して食材料費の高騰がどのくらい影響を及ぼしているかを注意深く見ているところである。今までのところは皆さんのご苦勞で何とか給食提供できているが、この春からも値上げが続いており、これから影響が目に見えてくるかと思うので、影響を見極めて必要があれば対応したいとは考えている。保護者の方からもしっかりとした説明があれば給食の値上げも致し方ないのご意見を頂いたので、その点も踏まえて検討していきたいと思う。

（その他）学校給食のあり方について

事務局より資料 7 を基に、学校給食のあり方について説明。

【矢部委員】 資料 7—4. 今後の方針「自校方式と給食センター方式を比較検討し給食室の整備の要否を判断することとする」とあるが、直近ではどちらの学校が検討対象になるのか。

【藤代主幹】 直近では大久保東小学校が校舎の建て替えに伴い、現在の自校方式から令和 10 年度より給食センター方式になることが決まっている。また、鷺沼小学校もこれ

から設計に取り組む段階だが、引き続き給食センター方式になることが検討した上で決まっている。鷺沼小学校の開校は令和 11 年度を予定している。

【その他（事務局連絡等）】

次回の会議の日程については、令和 7 年 2 月 1 0 日（月）を予定している。詳細については、再度お知らせする。